

【令和4年度6月補正に係る市長提案説明要旨】

(R4.6.7)

令和4年度伊丹市一般会計補正予算（第3号）についてであります。本案は、新型コロナウイルス感染症を始めとする社会情勢の変化等に対応するため、国庫支出金、県支出金、寄附金並びに基金繰入金などを主な財源といたしまして、所要の措置を講じようとするものであります。

その主なものを申し上げますと、60歳以上の高齢者等を対象とした、4回目の新型コロナウイルスワクチン接種に向けた必要な体制の整備や、AI技術を活用したデジタル教材を導入し、子ども達の学習状況に応じた学習支援ができる体制を整備するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、売り上げが減少した市内の中小企業者を対象に、設備投資や、感染症防止対策等に係る経費の一部を補助するほか、中心市街地のにぎわいを創出し、商業の活性化を図るためのイルミネーションイベントの実施や、市内の店舗で一定額以上の買い物をした市民を対象に、抽選で市内事業者の商品等を発送するなど、地域経済の活性化を推進する経費等を措置しようとするものであります。

また、介護施設において、新型コロナウイルス感染の拡大を防止するために、多床室を個室化するための経費の一部を補助するとともに、寄附金を活用し、生物多様性に関する取り組みを実施している学校や団体等への支援や、子どもの読書活動を推進するためのブックスタート事業の財源更正など、所要の経費を措置しようとするものであります。

その結果、第1条、歳入歳出予算につきましては、それぞれ9億1,241万4,000円を追加し、その総額を853億6,448万7,000円としようとするものであります。

また、第2条の繰越明許費の補正では、庁舎等維持管理事業並びに消防施設事業に係る繰越明許費の追加措置を、第3条の債務負担行為の補正では、口腔保健センター管理運営事業に係る債務負担行為の追加措置を、第4条の地方債の補正では、文化施設等整備事業及び新保健センター等複合化施設整備事業の実施に伴う地方債の変更措置を講じようとするものであります。